

令和5年度釧路管内教職員のコンプライアンス意識の向上のために

※下線部は昨年度との変更点

● 信頼される学校であるために

- ・ 釧路管内においては、依然として、体罰・不適切な指導、交通違反・事故などが発生しています。
- ・ こうした事故等の発生は、職員個人の問題に止まらず、学校教育全体に対する社会の信頼を失うことにつながります。



教職員一人一人が法令遵守等について、高い意識を持つことが求められるため、次の目標を重点として、学校、市町村教育委員会、教育局が連携し、実効性の高い未然防止策の取組を提案します。

● 重点目標

- ① わいせつ行為の根絶
- ② 交通違反・事故防止の徹底～特に飲酒運転の根絶！～
- ③ 体罰及び不適切な指導防止の徹底
- ④ 不祥事防止に向けた組織的な対応の強化

目標
発生件数ゼロ！

昨年度、釧路管内で不祥事が15件（わいせつ行為3件、酒気帯び運転1件、罰金に処された交通違反・事故1件、体罰1件、不適切な指導*5件、営利企業従事等制限違反2件、管理監督責任2件）が発生したことを踏まえ、重点目標を設定します。

- ①～③ 管内での不祥事の発生状況を勘案し、重点目標の順序を入れ替えます。
- ④ これまで重点としてきた初任層職員及び期限付職員による不祥事の防止については発生件数が減少する一方で、わいせつ行為や酒気帯び運転などの重大事故は様々な年齢層で依然として発生しており、憂慮すべき状況が続いているため、校内における組織的な対応を強化していただくため、設定します。

(* 不適切な指導：児童生徒の年齢、健康、心身の発達状況に応じた指導をすべきところ、その配慮に欠けた指導)

● 重点的な取組

個別研修
・「リーフレット」等を活用
・人事評価の面談の場を活用

目 個別研修
標 実施率100%の維持！

わいせつ行為の根絶

- ◆ 研修等を通して、わいせつ事故が誰にでも起こりうるという認識と、わいせつ事故がもたらす被害者や職場・自身・家族への代償を意識させ、日頃から危機管理の意識を醸成する
- ◆ 児童生徒・保護者との連絡を適切な手段で行うこと・一定の距離感を持つことを徹底する

交通違反・事故防止の徹底

- ◆ 「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」を合言葉に、飲酒運転を許さない職場づくりを行う
- ◆ 速度違反の根絶に向け、ゆとりを持った運転の励行を行う

体罰及び不適切な指導防止の徹底

- ◆ 「望ましい指導の在り方～体罰の根絶を目指して～」を活用して、体罰に対する正しい知識やアンガーマネジメントに関する研修を行う
- ◆ 児童生徒の指導に当たり、チームで指導する体制の整備など指導体制の見直しや、管理職等が校内巡視を行うなど更なる実態把握に努める

不祥事防止に向けた組織的な対応の強化

- ◆ 不祥事防止に係る校内委員会を設置し、教職員が参画した不祥事防止対策への転換を図る
- ◆ ソーシャルメディアの利用に関して、校内規定等の整備及び運用の徹底を図る
- ◆ 若手職員や期限付職員に対して、着任時に研修を実施するなど服務規律の保持について指導する

+α(アルファ)の実践

★学校独自の取組

上記4つまたはその他に関わり、学校独自の取組を行ってください。

【具体例】

- ・ 道教委不祥事根絶ポータルサイト掲載の情報を活用し、より充実した校内研修を行う
- ・ 警察職員やカウンセラーなどの外部講師を活用した、専門的知見を取り入れた対策を検討する
- ・ 全国や道内での不祥事の発生ごとに、校内ルールの確認、新規策定を行う
- ・ 若手職員等を含め、管理職や同僚職員同士で相談しやすい雰囲気醸成を図る

不祥事根絶
ポータルサイト
↓↓↓

